

衛星漏調と次世代の維持管理技術

水道DXで水道管路・コンクリ構造物・水道施設・水質監視を効率化

ジャパン・トゥエンティワン株式会社は、“第2のシリコンバレー”とも呼ばれるイスラエルをはじめ、世界中に数多く存在する海外パートナー企業と協力し、日本国内での事業開発に携わっています。当社では、ハイテク技術で社会課題を解決するという使命から、水道事業体に向けた製品を多数手掛けています。

人工衛星と先端技術で漏水検知と管路維持「アステラ」



「アステラ・リカバー」は、Lバンド波を照射する人工衛星を用いて地上から反射波データを取得、独自アルゴリズムとAIで解析し、水道水の漏水を検知します。またアステラでは、漏水データや調査結果を管理できるWebサービスや携帯アプリを提供し、DX推進を後押ししています。

地下水質と流動の常時モニタリングシステム「iFLUX」

J21 主催

iFLUX

iFLUX オンラインセミナー

最新の地下水モニタリングを学ぶ。

iFLUX 本社の人間が登壇し、ヨーロッパのPFAS対策最前線で活躍するiFLUXの最新情報をお届けします。

参加無料・オンライン

11/27 16:00~17:00

詳細はこちらのQRコードを参照ください

参加
無料



デモ機の展示アリ！ 光ファイバー漏水検知システム「DALI」



DALIは、水道管路のための画期的な光ファイバー漏水検知システムです。分散型音響センシング（DAS※）技術を搭載したDALIは、パイプラインの漏水を正確に検知します。これにより事業体は、高度な管路の維持管理を実現し、無収水量を削減、資産の耐用年数を延ばすことができます。

コンクリート構造物AI診断システム「RAPIDA」



取得された画像や赤外線データ、構造データなどを元に、最先端のAIとアルゴリズムでコンクリート構造物の異常を高精度に検知します。メンテナンスの優先順位づけも自動的に行い、個別構造物からインフラ全体に至るまで、維持管理とコスト最適化を実現します。

航空・衛星画像を活用した物体検知システム「GeoX」



GeoXは、マシンビジョンとディープラーニング技術を使って、航空写真から得られた2D画像を、自動で3Dモデルに抽出します。現在の土地・建物状況の把握、将来の建物リスク評価に加え、自然災害後の状況把握も素早く、正確に行うことができます。

業種区分 | 検査・データ分析、調査等

出展者● ジャパン・トゥエンティワン(株)

所在地● 〒440-0873 愛知県豊橋市小畷町505

連絡先● TEL：0532-66-0021 Eメール：shimada.daiju@japan21.co.jp

担当部署：マーケティング部



当社コーポレートサイトはこちら

ブースNo.

99